



Digital



広告デジタル制作・入稿ガイド

2006.10.01 改訂

デイリースポーツ大阪本社

〒550-8570

大阪市西区江戸堀1-10-8

TEL (06) 6447-1825

FAX (06) 6443-4000

デイリースポーツ東京本社

〒135-8566

東京都江東区木場2-14-8

TEL 050-3383-2530 (IP)

FAX (03) 5245-7282

<http://www.daily.jp/>

はじめに

一般印刷に比べて高速で印刷を行う新聞印刷には、さまざまな印刷ルールがあります。そのため、制作データをスムーズに新聞紙面に掲載するためには、制作者の方が新聞印刷の知識やルールについて理解していただくことが不可欠です。

本ガイドでは、デイリースポーツ社にデジタル送稿を行う場合のさまざまな条件をまとめてみました。トラブルのないスムーズな原稿の受け渡しを行うために、このガイドラインを是非ご活用ください。

目次

1. 基本事項	3
広告の種類	3
入稿期日	3
広告サイズ	4
必要校正枚数	5
スポットカラーの色連絡	5
オーバープリントの指定	5
入稿メディア	6
原稿データ確認書	6
バックアップ用の紙焼き原稿	6
ウィルスチェック	7
原稿の象嵌	7
RIP のシステム設定	7
2. 原稿制作	8
2-1 共通事項	8
DTP 環境	8
入力データ形式とファイル名	8
広告囲み罫	9
広告囲み罫がない広告	9
レジスタマークや不要なオブジェクト	10
使用する画像について	11
広告の色設定	12
細線最小サイズ	12
フォント	12
朱枠広告	13
2-2Illustrator	14
バージョン	14
書類設定	14
画像の配置	15
パターン、ブラシ、グラデーション	16
レイヤー	16
アウトライン	16
新規機能	16
ファイルの保存	17
2-3Photoshop	18
写真の再現性、階調について	18
ハーフトーンスクリーン	18
画像モードと解像度	18
画像の保存	19
プロファイルに関する初期設定	19
3. トラブル事例	20
入稿 MO に関する事例	20
ファイルの保存に関する事例	20
フォントに関する事例	20
原稿サイズに関する事例	21
画像に関する事例	21
4. 参考資料	23

1. 基本事項

■ 広告の種類

◇ 広告種別

記事下広告
15 段全面広告
30 段 2 連版広告
2 連版記事下広告
雑報

◇ 色種別

モノクロ広告
フルカラー広告
スポットカラー広告（Bk 版＋特色の単色広告）

■ 入稿期日

モノクロ	⇒組日前日	（掲載日 2 日前）	正午必着
フルカラー・スポットカラー	⇒組日 3 日前	（掲載日 4 日前）	正午必着

※ただし、土日祝はカウントしません（例：火曜付は金曜入稿）

※ 2 連版広告はフルカラー広告と同様の入稿期日となります。

1. 基本事項

■ 広告サイズ

※サイズはすべて組寸です

広告原稿は以下のサイズで制作をお願いします。

モノクロ広告、フルカラー広告、スポットカラー広告ともサイズは共通です。

ブランケット

縦サイズ		横サイズ	
1 5 段	5 3 4 mm	2 連版	7 9 8 mm
1 4 段	4 9 7 mm	全 幅	3 8 7 mm
1 3 段	4 6 2 mm	1 / 2	1 9 2 mm
1 2 段	4 2 6 mm	1 / 3	1 2 7 mm
1 1 段	3 9 0 mm	1 / 4	9 5 mm
1 0 段	3 5 5 mm	1 / 5	7 7 mm
9 段	3 1 9 mm	1 / 6	6 3 mm
8 段	2 8 3 mm	1 / 8	4 8 mm
7 段	2 4 8 mm		
6 段	2 1 2 mm		
5 段	1 7 6 mm		
4 段	1 4 0 mm		
3 段	1 0 5 mm		
2 段	6 9 mm		
1 段	3 3 mm		

タブロイド

縦サイズ		横サイズ	
1 1 段	3 8 8 mm	2 連版	5 3 5 mm
1 0 段	3 5 3 mm	全 幅	2 5 5 mm
9 段	3 1 7 mm	1 / 2	1 2 6 mm
8 段	2 8 2 mm		
7 段	2 4 6 mm		
6 段	2 1 1 mm		
5 段	1 7 5 mm		
4 段	1 4 0 mm		
3 段	1 0 4 mm		
2 段	6 8 mm		
1 段	3 3 mm		

1. 基本事項

■必要校正枚数

モノクロ ⇒ 2 枚（従来通り）
フルカラー・スポットカラー（大阪のみ）⇒ 8 枚（従来通り）
（東京のみ）⇒ 6 枚（従来通り）
（東西共通）⇒ 11 枚（従来通り）

※最終出力物を確認用ゲラとして添付してください。また、色ゲラは印刷見本として使用するため、正確な色ゲラの添付をお願いします。

※校正ゲラにも掲載日、掲載媒体（大阪・東京・夕刊）、広告主名を明記してください。

■スポットカラーの色連絡

色No・色量の連絡は掲載日の1週間前までにお願いします。
※ただし特練りの場合は従来どおり10日前とさせていただきます。

■オーバープリントの指定

オーバープリントの指定を行うと、当社 RIP では出力結果に異常が生じることがあります。出来るだけオーバープリントの指定は避けて下さい。
指定される場合は、事前に連絡を下さい。

1. 基本事項

■入稿メディア

◇ Macintosh 標準フォーマット (HFS) の 3.5 インチ MO (1.3GB まで対応可能です) Mac OS 拡張フォーマット (HFS Plus) は使用しないでください。

1 メディアに 1 原稿を厳守してください。

◇ MO は必ずケースに収めて入稿願います。

◇ MO にファイル名、広告主、掲載媒体、掲載予定日、サイズ、広告会社を明記したラベルを貼ってロックを掛けてください。

◇ 同様のラベルを MO ケース内に収めて入稿願います。

ラベルの例

ファイル名	
広告主	
掲載媒体	<input type="checkbox"/> 大阪本社版 <input type="checkbox"/> 東京本社版 <input type="checkbox"/> 東京夕刊
サイズ	掲載予定日
<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> フルカラー <input type="checkbox"/> スポット	
広告会社	

■原稿データ確認書

制作側と出力側とのトラブルを防ぐためにも必要と思われます。必要事項を記入の上、メディアとともに入稿してください。(本ガイド最終ページの＜掲載データ確認書_見本＞をコピーしてお使いください。)

■バックアップ用の紙焼き原稿

バックアップ用の紙焼き原稿、フィルムなどは不要です。

1. 基本事項

■ウィルスチェック

ウィルスはファイルの破壊をはじめ、新聞製作システムに決定的なダメージを与えるものも少なくありません。膨大な数のファイルが様々なコンピュータを経由する広告においては、ウィルス感染は絶対にあってはならないことです。

入稿前に必ずチェックをお願いします。

■原稿の象嵌

完全原稿での入稿をお願いします。原則として新聞社での象嵌は行いません。

■当社 RIP のシステム設定

◇出力解像度＝909dpi

◇網 線 数＝モノクロ：80 線、カラー：90 線

◇網 角 度＝モノクロ：45 度

カラー：C 版－15 度、M 版－45 度、Y 版－90 度、K 版－75 度

2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■ DTP 環境

◇本入稿ガイドは、Macintosh DTP を前提として作成しています。

◇OS は MacOS8.0 以降を推奨します。

◇対応アプリケーション：

Adobe Illustrator 5.5、8.01、9.0、10.0、CS（CS2 は未検証）

Adobe PhotoShop 4.0 以降（CS2 は未検証）

■ 入力データ形式とファイル名

◇**配置画像を含む EPS 形式**にして下さい。PDF 形式は不可。

◇必ずフォルダを作成し、広告関連すべてのデータ（最終出力データ、配置された画像データ上記レイアウトソフトを使用している場合は、各アプリケーションのネイティブデータなど）をフォルダ内に保存してください。

◇最終出力物のファイル名の規約は以下の通りです。

例：4月1日のデイリー製薬5段カラー広告の場合

0 4 0 1 デイリー製薬5段 - C .eps

① ② ③

①日付を含む任意の文字列（全角半角 OK）

②カラーコード：モノクロ -N、カラー -C、単色 -S

③拡張子：.eps

※ファイル名に機種依存文字などの特別な文字は使用しないで下さい。

（半角、機種依存文字、第二水準漢字の後部、外字など）

例：①～⑨、㊦、(株)、襴、キロ、㌢、I～X（アラビア数字）、cm、kgなど

◇PS チェック結果：

弊社 PS チェッカーで EPS 文法を解析します。不具合があった場合は PDF ファイルで結果をフィードバックすることも可能です。

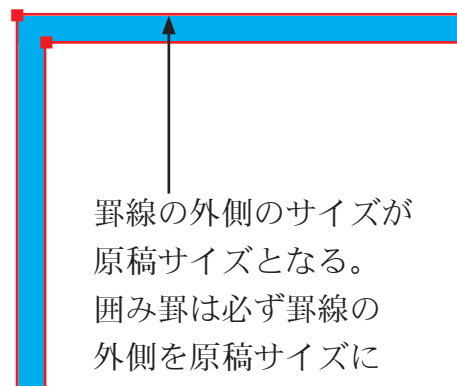
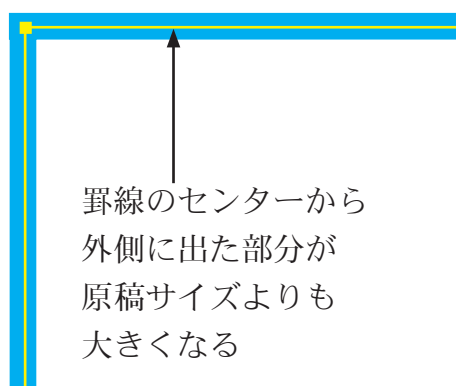
その結果に沿って再作成をお願いします。

2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■ 広告囲み罫

広告囲み罫は必ずアウトライン化された罫の外側を原稿サイズとしてください。

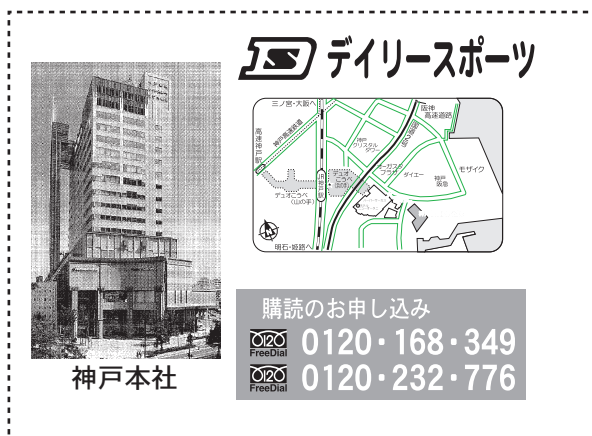


■ 広告囲み罫がない広告

RIP の仕様により、制作した実際のデータ範囲（上下左右それぞれ一番外側にあるデザイン）を基準として原稿データの抽出を行います。そのため囲み罫のない広告では空白部分が再現されずに拡大されて掲載されます。この拡大や偏倍を防ぐためには、広告規定サイズに合わせた「白」や「透明」の矩形を最下位レイヤーに配置してください。

正しい広告サイズ＝白や透明の矩形が背景に配置されている

拡大された広告＝白や透明の矩形がないと拡大されてしまう



波線枠内が白の矩形



2. 原稿制作

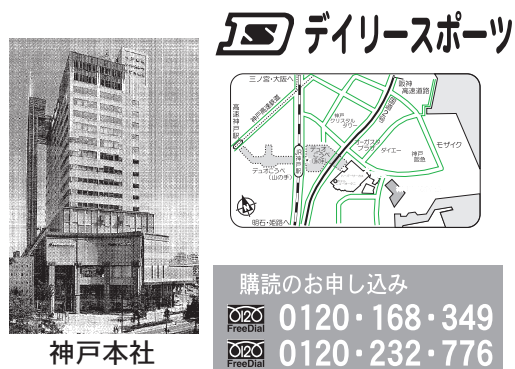
2_1. 共通事項

■レジスタマークや不要なオブジェクト

データ保存時は必ず広告イメージのみとしてください。レジスタマークやグレースケール、ガイドライン、色玉、孤立点などが存在すると原稿の一部と認識され、出力イメージが異なる原因となります。広告原稿以外の不要なデータは必ず削除してください。



レジスタマークも原稿と認識されて出力される



不要なオブジェクト（孤立点）が残っていたため、広告原稿の右側が余白となって出力される（図をわかりやすくするため孤立点を大きく表しています）



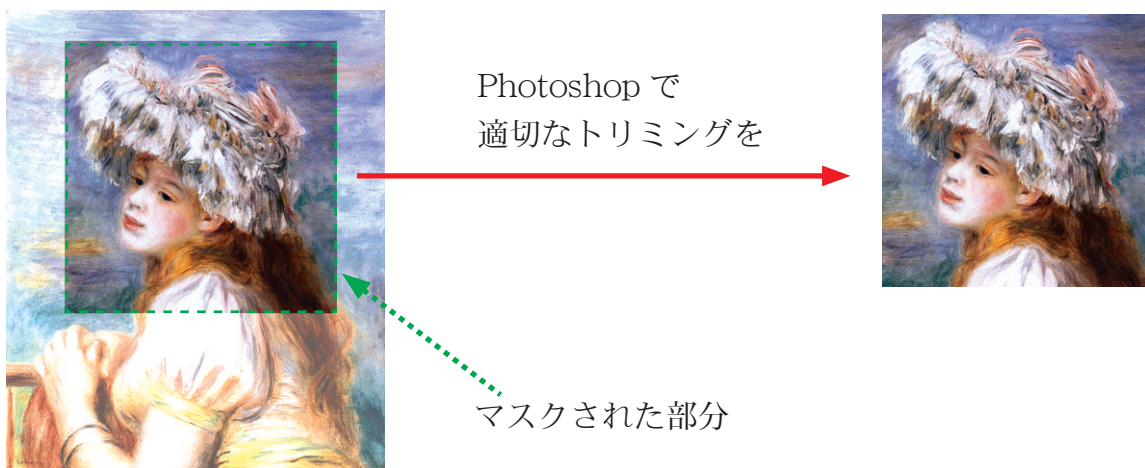
2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■使用する画像について

◇画像のマスキング処理

画像データはあらかじめ Photoshop で適切な範囲にトリミングをしてください。
マスクされた部分が大きいと重く無駄なデータとなり、処理に時間がかかります。



◇画像の解像度

モノクロ二階調は出力時のモアレ防止のため出力解像度と同じ掲載実寸で 909dpi、
モノクロ写真及びカラー写真は掲載実寸で 200dpi に設定してください。

※一般的に写真の入力解像度は、出力網線数の 2 倍が推奨されています。したがって、モノクロで 160dpi (80×2)、カラーでは 180dpi (90×2) となり 200dpi で十分と思われます。逆に 200dpi 以上に設定されても、データが重くなるだけで印刷再現上に変化はありません。

◇特に必要がない場合は、画像にハーフトーンスクリーンやトランスファーカーブを埋め込まないようにしてください。

カラー画像に対する、ハーフトーンスクリーンやトランスファーカーブの埋め込みは厳禁です。

◇EPS データを EPS データ内に再配置するネスティングを 2 回以上行うことは、出力エラーの原因となります。

2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■ 広告の色設定

◇モノクロ広告

グレースケールモードの1データで入稿ねがいます。

◇フルカラー広告

CMYK カラーモードの1データで入稿ねがいます。

RGB カラーは意図しない色で展開されるため厳禁です。

◇スポットカラー広告

CMYK カラーモードで制作しますが、特色となる部分はC版に置き換えてください。原稿データとしては、CMYK カラーモードのK版+C版の2色1データとなります。

■ 細線最小サイズ

◇黒線：0.2pt

◇白線：0.6pt

■ フォント

広告のデジタル入稿における最も多いトラブルの一つにフォントのトラブルが挙げられます。当社のRIPには新聞協会推奨の20書体（すべてCIDフォント）を搭載していますが、フォントによるトラブルを防止するためにも、

原稿内のフォントはすべてアウトライン化をお願いします。

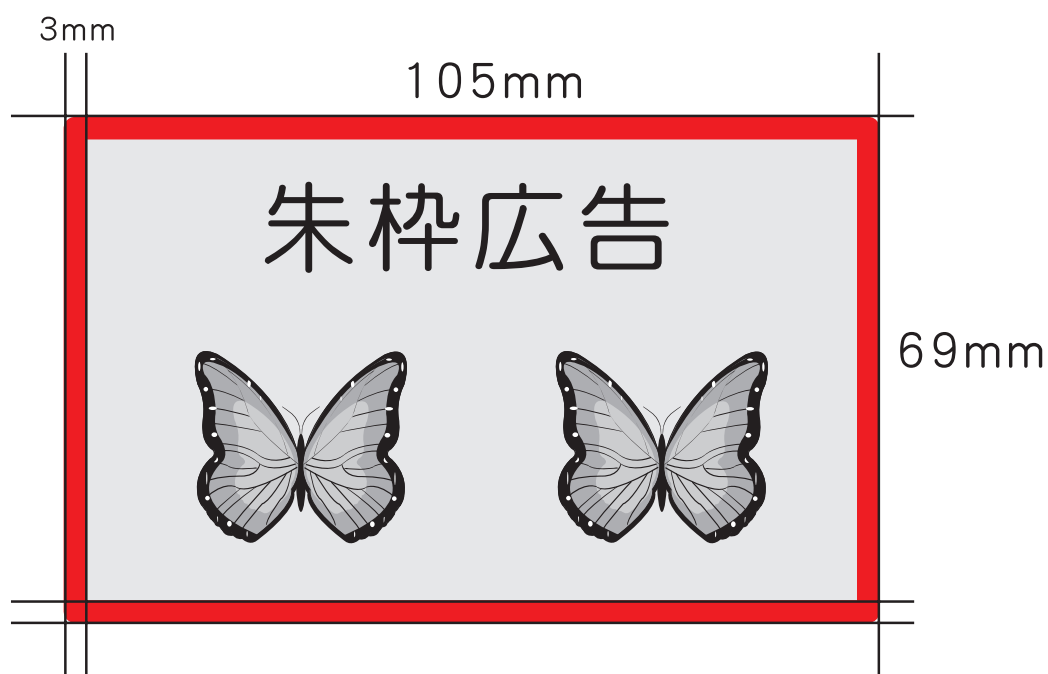
2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■朱杵広告の入稿」

朱杵は、杵を含んだ多色の EPS データで入稿して下さい。

杵の色はM=100%、Y=100%、杵の太さは3ミリでお願いします。



2. 原稿制作

2_2.Adobe Illustrator

■バージョン

弊社 RIP は Illustrator の ver.5.5、ver.8.0.1、ver.9.0、ver.10.0、ver.CS に対応しています。(ver.8.0 は不具合があるため ver.8.0.1 にアップデートが必要。CS2 は未検証。)

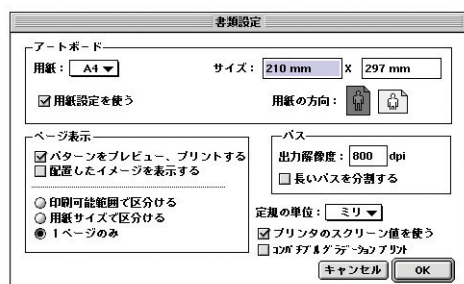
また、ver7.x はアプリケーションに不具合がある為使用は厳禁です。

※将来的に RIP がアップデートされ、Illustrator の対応バージョンが上がればご連絡させていただきます

■書類設定

◇出力解像度は 800 ～ 1200dpi 程度に設定してください。通常はデフォルトのままでも構いません。

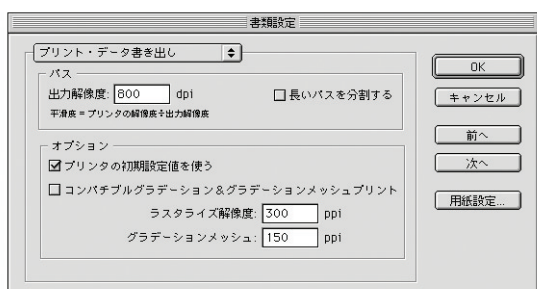
◇必ず「プリンタの初期設定値を使う」にチェックをしてください。グラデーションの塗りなどで Illustrator が意図しないハーフトーン（例えば角度が 0 度など）を独自に発生させる場合があります。



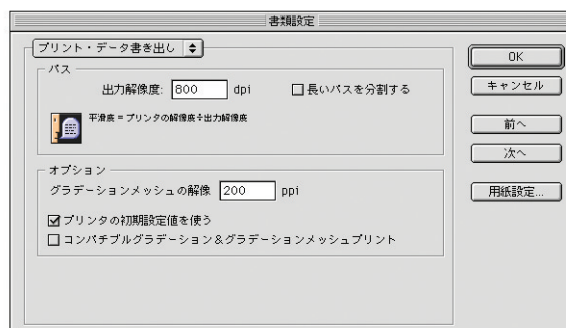
Illustrator 5.5



Illustrator 8.0



Illustrator 9.0



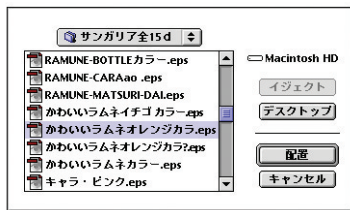
Illustrator 10.0

2. 原稿制作

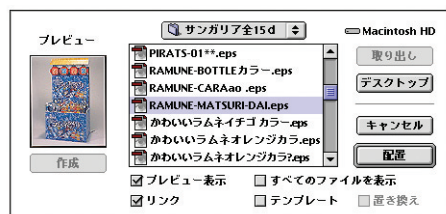
2_2.Adobe Illustrator

■画像の配置

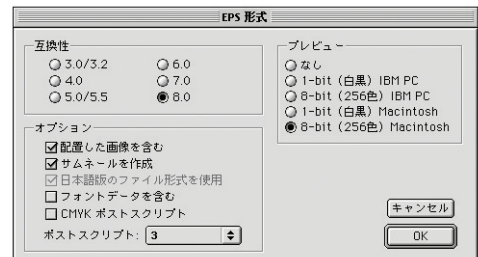
Illustrator に画像を配置する場合は必ずリンクにチェックし、配置画像を含むをチェックして保存してください。



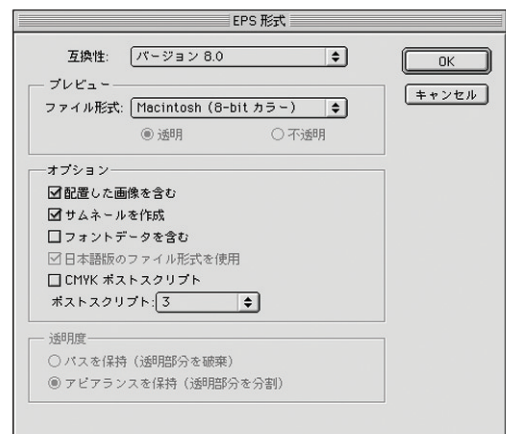
Illustrator 5.5



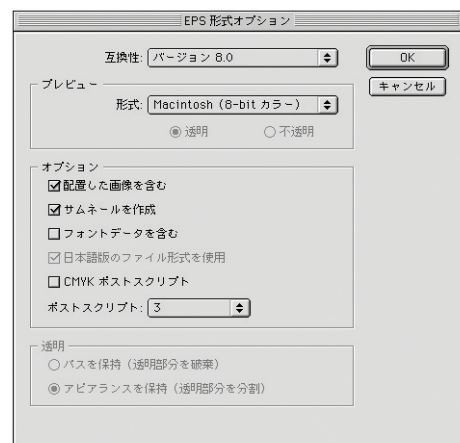
Illustrator 8.0



Illustrator 9.0



Illustrator 10.0



2. 原稿制作

2_2.Adobe Illustrator

■パターン、ブラシ、グラデーション

◇パターンやブラシで描画されたものは、出力エラーを予防するために分割・拡張コマンドですべてオブジェクト（アウトライン化）に変換しておくことを推奨します。

◇グラデーション、カラーブレンド、グラデーションメッシュを含むファイルはカラーバンドを生じさせたり出力できない場合があります。掲載実寸で 200ppi 程度の解像度でラスタライズするか Photoshop で作成した画像を配置してください。

■レイヤー

Illustrator8.0 を使用した場合、レイヤーごとにプリントするかどうかの設定機能がありますが、出力しないレイヤーはすべて削除してください。また、テンプレートレイヤーも使用しないでください。ファイルのプレビューと出力結果を一致させてください。

※不要なレイヤーは削除しておいてください。

■アウトライン

複雑なオブジェクトやアンカーポイントの多いデータは出力エラーを起こす要因です。データの不要なアンカーポイントは削除してください。また、デザイン上許す限り複雑なオブジェクトの使用は控えてください。

2. 原稿制作

2_2.Adobe Illustrator

■ファイルの保存

◇保存形式

必ず IllustratorEPS 形式で保存してください。

◇互換性

作成したバージョンと同じバージョンで保存してください。

◇配置画像

配置した画像を含むにチェックを入れてください。

◇CMYK ポストスクリプト

チェックを外してください。

◇ポストスクリプトレベル

レベル3を選択してください。

◇サムネールを作成

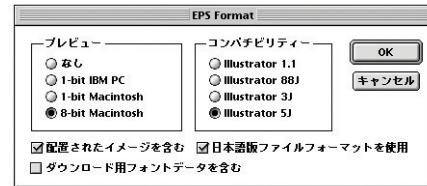
どちらでも構いません。

◇フォントデータを含む

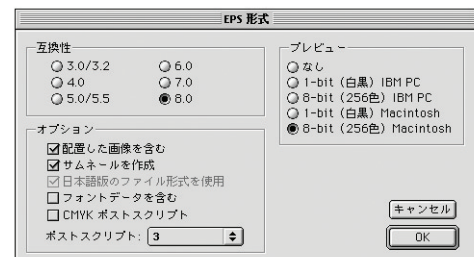
フォントはすべてアウトライン化のためどちらでも構いません。

◇プレビュー

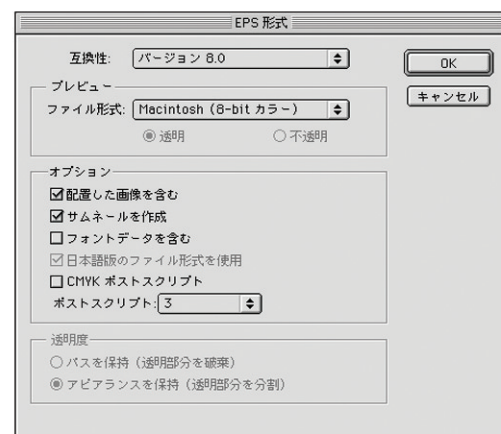
いずれでも構いませんが、通常は Macintosh 8bit カラー。



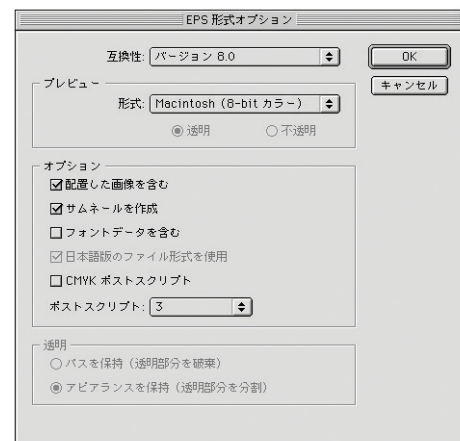
Illustrator 5.5



Illustrator 8.0



Illustrator 9.0



Illustrator 10.0

2. 原稿制作

2_3. Adobe Photoshop

■写真の再現性、階調について

新聞印刷では比較的低粘度のインキで、一般的にザラ紙と呼ばれる紙に、高速オフセット輪転機で印刷しています。そのため一般商業印刷に比べ印刷再現性が見劣りすることは否めません。下記の項目は当社の印刷再現性を考慮した一応の目安です。写真処理の参考にしてください。

◇ UCR はトータル 250% 以内で作成してください。

◇ ドットゲインは 50% 前後で顕著に表れ、約 25% 程度階調が上がって再現され、85% を超えるとほとんどベタ黒となってしまいます。

■ハーフトーンスクリーン

ハーフトーンスクリーンの埋め込みは行わないでください。EPS 保存時に「ハーフトーンスクリーン情報を含める」のチェックを外してください。

モノクロ画像に限り、デザイン上の理由で独自の網形状、角度、線数を設定する必要がある場合は、ハーフトーンスクリーンの埋め込みを行ってください。

カラー画像の場合、ハーフトーンスクリーンの埋め込みは厳禁です。

■画像モードと解像度

◇カラー

CMYK 200dpi

RGB や Lab は意図しない色で展開されます。また、エラー誘発の原因にもなります。

◇モノクロ

グレースケール 200dpi

◇線画やロゴマーク

モノクロ二階調 909dpi

2. 原稿制作

2_3.Adobe Photoshop

■画像の保存

◇保存形式

Photoshop EPS で保存してください。

◇プレビュー

任意で結構です。

◇エンコーディング

画像の劣化を防ぐため、バイナリを推奨します。

※ JPEG 保存の場合は＜高画質＞を推奨。

◇DCS（バージョン 4.0 のみ）

必ずオフにしてください。

◇クリッピングパス（バージョン 4.0 のみ）

必要に応じてチェックをいれてください。

◇ハーフトーンスクリーン情報

チェックを外してください。

◇トランスファ関数を含める

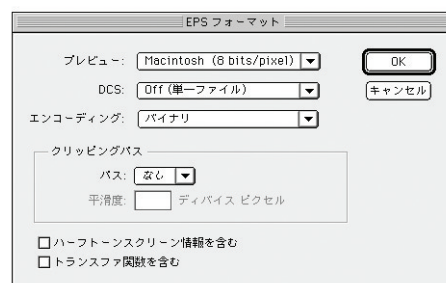
チェックを外してください。

◇ポストスクリプトカラー管理（5.0）

チェックを外してください。

◇ポストスクリプトカラーマネジメント（6 及び 7.0）

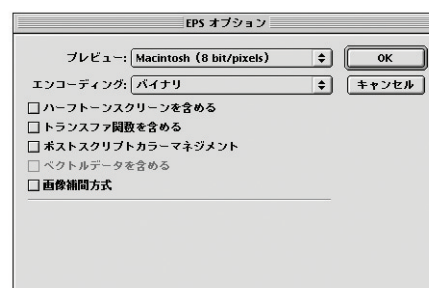
チェックを外してください。



Photoshop 4.0



Photoshop 5.0



Photoshop 6.0 ~ 7.0

■プロファイルに関する初期設定

Photoshop EPS データを画像ファイルとして使用する場合、プロファイル設定は「プロファイルの埋め込み」のチェックをすべて外し、

プロファイルを埋め込まない設定にしてください。

3.トラブル事例

■入稿 MO に関する事例

☆入稿された MO 内に複数のフォルダが存在していたり、フォルダが何階層にも分かれており、掲載原稿が判別できない。

対応：1 MO に1原稿を厳守。必ず1階層のフォルダ内に収める。

☆入稿された MO 内のフォルダが見えない。

原因：空の MO で入稿された。

対応：入稿前に確認を

■ファイルの保存に関する事例

☆入稿されたメディア内のファイルが見えない。

原因：EPS 保存がされずアプリケーションのネイティブデータで入稿されていた。

対応：必ず EPS 形式で保存する。

☆ RIP 展開後に、ゲラを確認すると配置画像が消えていた。

原因：配置画像のリンク切れを起こしている。

対応：保存時には、配置画像を含むにチェックを入れ、最終出力物（出力原稿）、リンク画像、レイアウト素材などを同一フォルダに収める。

■フォントに関する事例

☆文字化けが発生した。

原因：RIP に搭載されていないフォントが、アウトライン化されていなかった。

対応：フォントのアウトライン化は原則。

☆文字間隔、改行位置などで不具合が発生した。

原因：OCF フォントと CID フォントが混在していた。

対応：1 ファイル中にフォントを混在させない。

原因：Illustrator のバージョンにより、カーニングの値が異なる。

対応：同一環境、同一バージョンで原稿作成を。

3.トラブル事例

■原稿サイズに関する事例

☆作成した原稿が縮小されて出力される。

原因：原稿の枠外にトンボや孤立点など不要なオブジェクトが存在していた。

対応：不要なオブジェクトを消去する。

☆余白が付いて出力される

原因：孤立点が存在しているか、画像ボックスやテキストボックスが規定サイズをはみ出している。

対応：孤立点の削除、画像ボックス、テキストボックスの修正。

■画像に関する事例

☆モノクロ広告に RGB 画像が使用されていた。

原因：モノクロ写真を RGB でスキャニングしている。

対応：モノクロ広告の画像はグレースケールで。

☆カラー写真の再現性が悪い。

原因：写真が RGB 画像になっていた。

対応：CMYK 画像で再入稿を。

☆色が変わって出力される。

原因：ICC プロファイルが設定されていた。

対応：プロファイル埋め込みのチェックを外して画像を保存し直す。

☆外見上全く問題なく見えるが RIP エラーとなる。

原因：複雑なマスク処理をしていた。

対応：できるだけシンプルな構造にする。

3.トラブル事例

■画像に関する事例

☆ RIP 演算に時間が掛かりすぎたり、出力エラーを起こす。

原因：Photoshop でトリミングをしていなくて、配置後に白矩形などで覆っていたり、大幅な拡大縮小がなされたりしていた。

対応：掲載実寸でトリミングを。

原因：複雑なグラデーションやブレンドを使用していた。

対応：掲載実寸で 200dpi 程度の解像度でラスターライズするか、Photoshop で作成した画像を配置する。

原因：画像解像度が極端に高い設定になっていた。

対応：写真の解像度は掲載実寸で 200dpi。

☆ロゴマークにジャギー、モアレが発生。

原因：解像度が適切でない。

対応：ロゴマークなどのモノクロ 2 階調は、掲載実寸で 909dpi。

☆スポットカラーが 3 色で出力された。

原因：特色カラーをそのまま使用していた。

対応：色版は C 版に置き換えて制作する。

原因：保存時に不要なオプションを選択している。

対応：プロファイルの埋め込みと、ポストスクリプトカラーのオプションを外して保存する。

☆オーバープリント指定部分の出力がおかしい。

原因：RIP の展開エラー。

対応：当社 RIP はオーバープリントの展開を保証しておりません。
使用は控えて下さい

4. 参考資料

■ 参考資料

『新聞広告デジタル制作・送稿ガイド Ver.1.5』 社団法人日本広告業協会
『新聞広告デジタル送稿ガイドライン第 2.A 版』 社団法人日本新聞協会

■ 協力

NEC

■ 登録商標

Apple、Macintosh、MacOS、TrueType は Apple Computer, Inc の商標または登録商標です。

Adobe、Illustrator、Photoshop、PostScript は Adobe Systems Incorporated の商標または登録商標です。

その他、記載されているすべてのブランド名、製品名、会社名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

新聞原稿《掲載データ確認書》

掲載情報			
ファイル名	.eps	掲載媒体	エリア
広告主	商品	広告会社	
送稿日	年 月 日	掲載予定日	年 月 日
		<input type="checkbox"/> 大阪	<input type="checkbox"/> 東京
送稿メディア	<input type="checkbox"/> 3.5MO(128MB) <input type="checkbox"/> 3.5MO(230MB) <input type="checkbox"/> 3.5MO(640MB) <input type="checkbox"/> 3.5MO(1.3GB)		
原稿サイズ	段 天地 mm × 左右 mm		
色数	<input type="checkbox"/> スミ1色(モノクロ原稿) <input type="checkbox"/> 4色カラー原稿 <input type="checkbox"/> スミ+特色〈 〉(単色原稿)		

ファイル情報	
アプリケーション	<input type="checkbox"/> Illustrator バージョン <input type="checkbox"/> 5.5J <input type="checkbox"/> 8.0.x <input type="checkbox"/> 9.0.x <input type="checkbox"/> 10.0.x <input type="checkbox"/> CS <input type="checkbox"/> Photoshop バージョン <input type="checkbox"/> 3.0J <input type="checkbox"/> 4.0.x.J <input type="checkbox"/> 5.0.x <input type="checkbox"/> 5.5 <input type="checkbox"/> 6.0.x <input type="checkbox"/> 7.0.x <input type="checkbox"/> CS
フォント	<input type="checkbox"/> フォントはすべてアウトライン化済み
その他	オーバープリント <input type="checkbox"/> 設定済み <input type="checkbox"/> 設定しない ※オーバープリント指定時は事前連絡
	トラッピング <input type="checkbox"/> 設定済み <input type="checkbox"/> 設定しない
	ハーフトーンスクリーン <input type="checkbox"/> 新聞社の設定値を使用する <input type="checkbox"/> ファイルの設定値を意図的に使用する
備考	

チェック事項		制作担当	送稿担当
■ファイル名は半角英数字27文字以内(全角の日本語13文字以内)で「.eps」の拡張子が付いている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■孤立点やガイドライン、トンボなど不要なデータが残っていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■画像は全て正しくリンクしてファイルは1フォルダにまとまっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■画像データは適切な解像度で、適切にトリミングされている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■画像、オブジェクト、フォントすべて色数に応じてプロセスカラー(CMYK)を使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■使用できないフォントはすべてアウトライン化またはラスタライズして原稿内に埋め込んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■ファイルは(画像を含めた)EPS形式で保存されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■Post Scriptプリンタによる原寸出力見本(またはウェットプルーフ)を確認した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■ウィルスチェックを行った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
■メディアに必要事項を記入したラベルを貼った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

広告会社 送稿担当者	電話番号	FAX番号
	E-mailアドレス	
制作(製版)担当者	電話番号	FAX番号
	E-mailアドレス	